

「農村イノベーションのための人材と組織の育成」：海外と日本の動き (平成26年度6次産業化研究資料 第1号)

ページ

目次

序章 農村における地域リーダー人材の育成 ―プロジェクト資料の課題と構成―	
..... (井上荘太郎)	1

第I部 農村イノベーションの人材像：

リージョナルマネージャーと農村アニメーター

第1章 LEADERの現状と2014年以降の展望	(市田知子)
1. はじめに.....	7
2. LEADERの対象地域と予算の拡大：「実験」から「主流」へ	7
3. 「コミュニティ主導の地域振興戦略」(CLLD) としての再編	9
(1) 財源の複数化	9
(2) 計画の策定と実施	10
4. 複数国間の共同活動.....	11
5. 2014年以降の展望.....	12
(1) 財源の複数化について	12
(2) EAFRDの助成率拡大について	13
(3) 行政の簡素化について	14
(4) LAGへの移管業務について	14
6. おわりに.....	14
第2章 LEADER事業とリージョナル・マネジメントの実態	
―ドイツ・ヘッセン州の事例―.....	(飯田恭子)
1. はじめに.....	17
2. EUにおけるLEADER事業の目的と背景	18
3. LEADER事業とローカル・アクション・グループ	18
4. LEADERメソッドの7つの特徴	19
(1) LEADERメソッドの特徴	19
5. EUにおけるLEADER事業の普及	21
6. ドイツ・ヘッセン州におけるLEADER事業の推移	22
(1) ヘッセン州におけるLEADER事業の導入	22
(2) LEADER事業を含む農村地域振興プログラムの継続	23
7. ヘッセン州のローカル・アクション・グループ.....	24
(1) LAGの類型	24
(2) ローカル・アクション・グループの職員配置	26

8. フルダ・ズードヴェスト協会と実施プロジェクト	27
(1) LAG設立の背景	27
(2) LEADER事業の助成プロジェクト	28
(3) 協会の自主財源プロジェクト	29
9. フルダ・ズードヴェスト協会のリージョナル・マネージメント	29
(1) 協会の運営	29
(2) 協会のメンバー構成とLAGの意思決定	30
(3) LEADERプロジェクトの採択	30
(4) リージョナルマネージャーの人員配置	32
(5) リージョナル・マネージメントの事務所と設備	32
10. リージョナルマネージャーの業務	32
(1) 地域内のステークホルダーの連携促進	32
(2) 助成プロジェクトの応募と申請の支援	33
(3) LEADER事業以外の助成事業の把握とプロジェクトの担い手への紹介	34
(4) 応募プロジェクトの採択補助	34
(5) LAGの運営・経營業務	34
(6) 他地域との交流と連携促進	35
(7) リージョナル・マネージメントのスキルアップ	35
(8) 地域振興戦略の策定・実施・評価	36
11. リージョナルマネージャーの養成	37
(1) カッセル大学大学院「持続的な地域発展コース」	37
(2) ヘッセン・リージョナル・フォーラム連合会	38
12. まとめ	39

第3章 フランスの地域エンジニアリングと農村アニメーター…………… (須田文明)

1. はじめに	43
2. 農業政策の萌芽的な地域化	44
(1) EUの共通農業政策に関わる利害対立	44
3. 公共政策の地域化とプロジェクト化	48
(1) 「プロジェクトの地域」	48
(2) 「プロジェクトの地域」の展開と内容	49
(3) 地域に固有なニーズの考慮	50
(4) 経済効率性の重視	51
4. 地域エンジニアリングの展開とその担い手	53
(1) 地域振興政策の歴史	53
(2) 地域エンジニアリングの定義	60
(3) 地域エンジニアリングの歴史的展開	61
(4) 地域エンジニアリングの内容と分類	64

5. 農村アニメーターに求められるコンピテンスと教育・研修	67
(1) 地域エンジニアリングに資するコンピテンスと教育	67
(2) 農村アニメーターの教育・研修	73
(3) 新自由主義と農村アニメーター：研修における政治的対立	75
6. 地域エンジニアリングと農村アニメーター：理論的考察	76
(1) 地域エンジニアリングの制度化	76
(2) 地域エンジニアリングの展開事例：ローヌアルプ州	77
(3) 農村アニメーターの職業的自律性	78
(4) 地域エンジニアリングのジレンマ：有機体論的観念から機械論的観念へ	81
7. おわりに	83

第Ⅱ部 農村人材育成制度の新しい動き：海外と日本

第4章 EUの農村アニメーター育成事業の特徴と示唆

—EMRAの概要と進捗状況—	(松田裕子)
1. はじめに	89
2. 農村アニメーターとは	90
(1) 農村アニメーターの役割	90
(2) 農村アニメーターのタスク	91
(3) 農村アニメーターに必要なスキル	92
(4) 農村アニメーターの現状と課題	94
3. EMRAの目的と概要	95
(1) EMRAの目的	95
(2) EMRAの概要	95
(3) EMRAのカリキュラム	99
(4) カリキュラムの構成と内容	100
4. EMRAの進捗と最新情報	104
(1) EMRAの現状	104
(2) 進捗と実施が遅れた理由	104
(3) EMRAの対象と志願者	105
5. 結び	105

第5章 韓国における農村地域開発の人材育成

1. はじめに	109
2. 韓国における農業人材育成事業	110
(1) 精鋭農業人材に対する教育事業	110
(2) 農村地域開発人材に対する教育事業	114
3. 農村地域開発人材の支援政策	117
(1) 農漁村体験・休養マウル事務長の運営支援制度	117

(2) 鎮安郡のマウル事務長制度の事例	120
(3) 農漁村開発コンサルタント資格制度	121
(4) 総括計画家の支援事業	123
4. 結び.....	125
第6章 日本の各省庁が展開する農村人材育成制度	
—外部人材活用・地域人材育成・拠点の形成—..... (田端朗子)	
1. はじめに.....	129
2. 海外の農村イノベーション政策と人材育成.....	130
3. 農村イノベーションに係る人材育成・活用制度の類型化.....	131
4. 各施策の概要	
(1) 外部人材活用型施策の概要	134
(2) 外部人材活用型施策の導入と広がり	136
(3) 地域人材育成型施策の概要	137
(4) 地域人材育成型施策（拠点の形成タイプ）の概要	139
5. 我が国の6次産業化の展開方向と人材育成・活用施策.....	140
(1) 6次産業化に関わる人材育成・活用施策	140
(2) 6次産業化に関わる人材育成・活用施策の位置づけ	143
6. おわりに.....	144
第7章 日本の大学等が展開する農村振興のための人材育成..... (小柴有理江)	
1. 研究の背景と課題.....	147
2. 大学等による人材育成の取り組み.....	148
3. リーダー的人材の養成とその仕組みづくり	
—金沢大学「能登里山マイスター」養成プログラム—.....	150
(1) 大学による拠点形成	150
(2) 「能登里山マイスター」養成プログラム.....	152
(3) 養成された人材の地域における活動状況	160
(4) プログラム実施の意義	161
(5) プログラム継続上の課題	162
4. おわりに.....	162
補論..... (須田文明)	
1: 地域エンジニアリングと農村アニメーターの事例.....	165
2: 地域振興アクター養成講座を受講した卒業生の追跡調査.....	199
3: 「地域診断と展望」高等研究認証 (AgroParis Tech CEA)	207
4: 農業会議所普及員によるアニメーション.....	211

【執筆者】

石原清史	農林水産政策研究所	政策研究調整官（首席）
井上荘太郎	農林水産政策研究所	国際領域主任研究官
市田知子	明治大学農学部食料環境政策学科	教授
	農林水産政策研究所	客員研究員
飯田恭子	sustain! 計画・コンセプト・振興	代表
	農林水産政策研究所	客員研究員
須田文明	農林水産政策研究所	国際領域上席主任研究官
松田裕子	農林水産政策研究所	三重大学地域戦略センター 研究員
李 裕敬	農林水産政策研究所	客員研究員
田端朗子	農林水産政策研究所	政策研究調査官
小柴有理江	農林水産政策研究所	農業農村領域研究員

（執筆順）